

## 岩城光英の永田町だより vol.260

盛夏の頃となりました。梅雨空が続きますが、時折り顔を見せる青空に、夏本番の間近いことが感じられます。

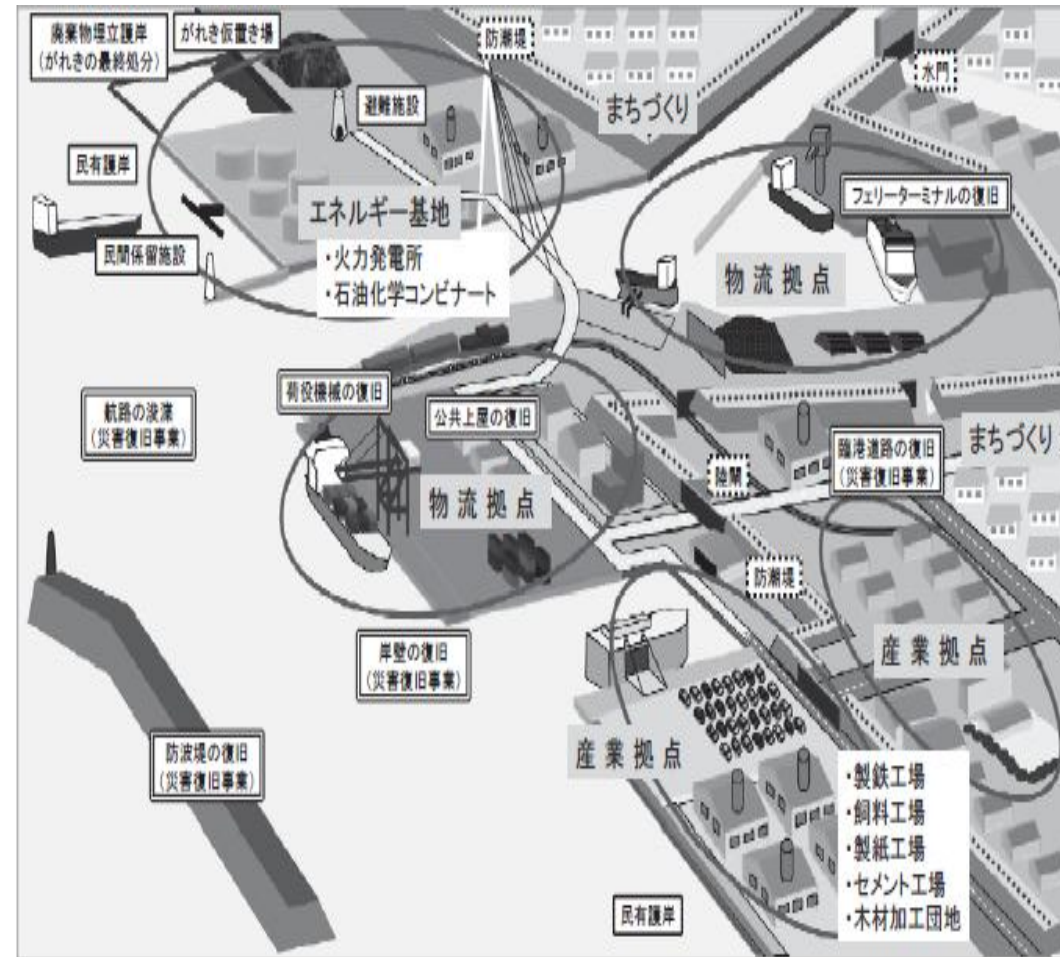
国会は、9月8日までの79日間の延長が決まりました。政府・与党の不誠実な国会運営（問責決議から約40日間も2大臣が辞任することも、総理が更迭することもなく、参議院での審議を空転させた）がなければ、会期の延長幅を短くできたと思われまます。さらに、せつかく延長しても、現在は小沢グループの離党問題があり国会は事実上、休業状況です。まさに政権担当能力の無さが明らかになっています。

また、原発事故直後に、米国エネルギー省が、米軍機によるモニタリングを行い、外務省に報告していました。しかし、政府はその貴重な実測値を公表せず、避難指示に活用しませんでした。福島県民にとって重大なこの問題は、私が会長を務める参議院自民党政策審議会に設置した【原発被害に関するプロジェクト・チーム】で取り上げ、事実関係の検証を行っており、我が党としても予算委員会等で厳しく追及してまいります。全く危機管理ができていない政権に対し、強い憤りを感じています。

さて、今号では、港湾整備についてお知らせいたします。

### 「被災地港湾の復旧・復興について」

四方を海に囲まれている我が国にとって、港湾は物流の大事な戦略拠点です。臨港地帯には「エネルギー」「石油化学」「木材」「飼料」「鉄鋼」「セメント」などの産業が立地



しています。東北・北関東の産業の空洞化を防ぎ、経済復興を実現するためには、港湾機能の早期かつ集中的な回復と、災害に強い港湾づくりが必要不可欠です。

各港において策定された「産業・物流復興プラン」を踏まえ、岸壁・防波堤や、荷役機械・臨港道路などの早期復旧や航路の浚渫を進め、さらに避難施設の建設など、津波から港湾と市街地を防御する、港湾を核とした地域の整備を進めていかなければなりません。

## 「これが政権政党か？」 北野湘南

民主、自民、公明の3党などの賛成多数で可決された社会保障・税の一体改革法案に反対していた小沢一郎元代表グループ50人が離党し、新政党を作ることになった。離党の理由として増税はマニフェストに無い、増税の前にやるべきことがあるなどと述べているが、マニフェストそのものが間違いであった。選挙目当ての保身とポピュリズム(大衆迎合)が目当てであることは見え見えだ。しかも、反対した鳩山元代表ら20人近くが党に残っており、民主党は政権政党としての能力を完全に失っている。

民主党は、衆院選挙で抜本的な予算の組み換えで16兆円余りを確保し、これを財源にすれば消費税を引き上げる必要がないどころか子供手当なども支給できるとマニフェストに掲げて勝利した。このマニフェストが、破綻したことは前回の参院選で菅代表が消費税の引き上げを打ち出したことでもはっきりする。急速な少子高齢化の進展に伴い福祉関連予算が年に1兆円程度も増加し、一般会計の45%を占める。税収不足を国債で賄ってきたことから国の借金は今年度末には1000兆円に達し、GDPの約2倍以上。単純計算すれば国民が、2年間も飲まず食わずに働いた分を支払いに回してやっと支払えるほどの巨額の借金だ。

小沢元代表中心に反対した議員は、可決された増税案を元に戻せと主張していたが、3党の合意により衆院で可決されたものを元に戻すことなど出来ないことを承知の上でごねたのが実態だ。反対議員の中からは日本が1500兆円の預貯金を抱えていることや国債の96%が国内で消化されていることを理由に「日本はギリシャのようにならない」との声もあるようだ。だが、その一方の債務も300兆円以上

もあり、高齢化社会で預貯金は今後減少する。信用度の高い海外の格付機関の格付けで日本国債は、数年前から低下の一途を辿っており現在では中国、韓国、チリより低い。中東各国との紛争を抱えるイスラエルと同格まで引き下げられている。国際金融市場では「このままでは日本は第二のギリシャになる」との予測が有力なのだ。日本の破綻を回避するには消費税の引き上げしかないことから自民、公明も民主党に協力した。反対した議員が日本の将来など全く考えていないことが、これ一つでも明確になる。

また、増税の前にやるべきことがあると小沢元代表は主張するが、やるべきことの具体策になると口をつぐんでしまう。増税反対は、選挙目当てのポピュリズムといわれても仕方ないだろう。不思議なのは党の決めた法案に反対したうえに無茶な要求を繰り返し、認められなければ離党すると公言する小沢元代表や同調者を処分するどころか必死になって輿石幹事長が、引きとめに飛び回っていたことだ。輿石幹事長は「党内融和が第一」としていたが、本当の狙いは「分裂したら自分が参院・議長に就けなくなるから」との穿った見方が永田町に飛び交っていた。

参院議長は、参院の最大会派から選ばれるのが、慣行。民主党・参院のドン輿石氏が参院議長に色気十分なのは政界で有名な話し。参院は野党が多数派を占めるが最大会派は、現在でも民主党・緑風会の104人。自民党・たちあがれ日本は86であるから19人以上が民主党を離れば民主党から議長は選ばれない。一連の行動を見ればそれを避けたいのが輿石氏の本心との噂が広まるのも当然だろう。日本の将来よりも自分の地位や選挙しか頭に無い議員が、跳梁跋扈する。これが政権政党・民主党の実態だ。